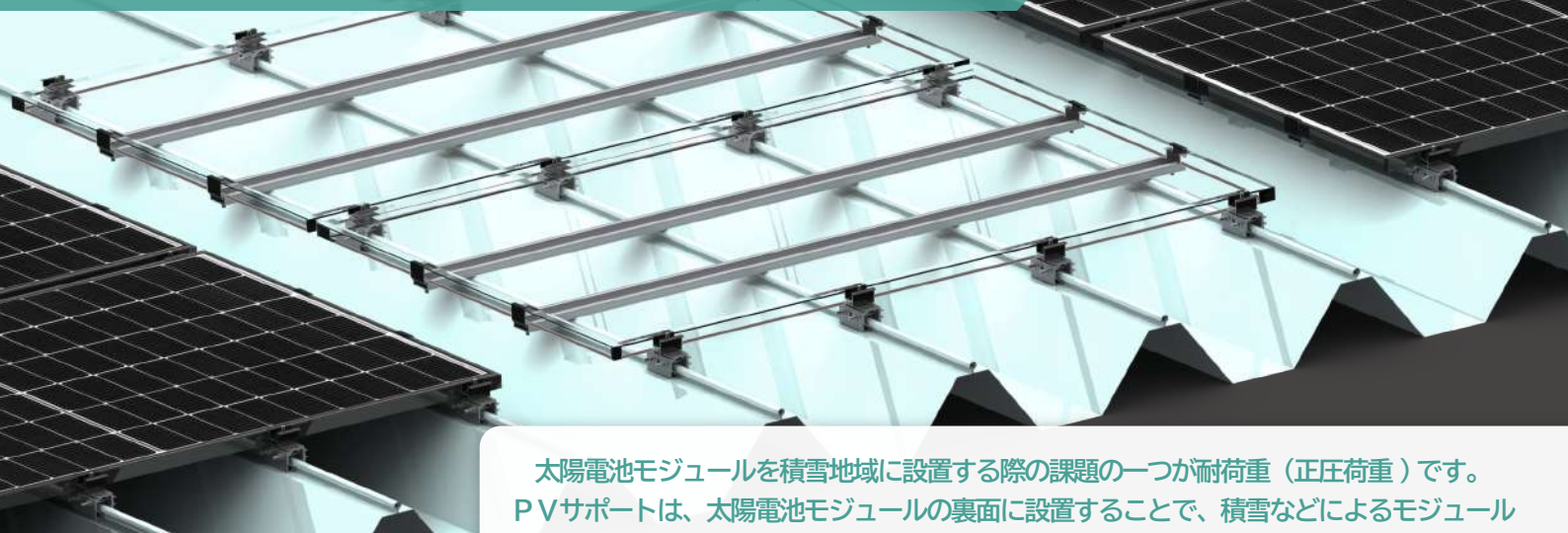


多雪対策工法 PVサポート^{PAT.P}

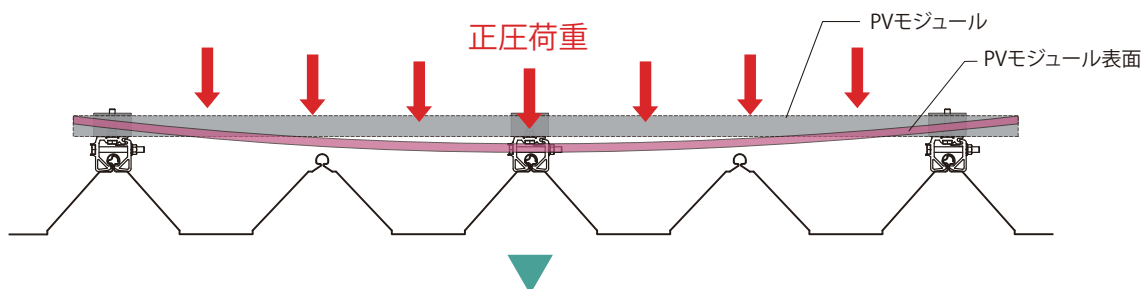


太陽電池モジュールを積雪地域に設置する際の課題の一つが耐荷重（正圧荷重）です。PVサポートは、太陽電池モジュールの裏面に設置することで、積雪などによるモジュールの過度な変形を抑えることができ、モジュールの破損を軽減する※ことが可能となります。

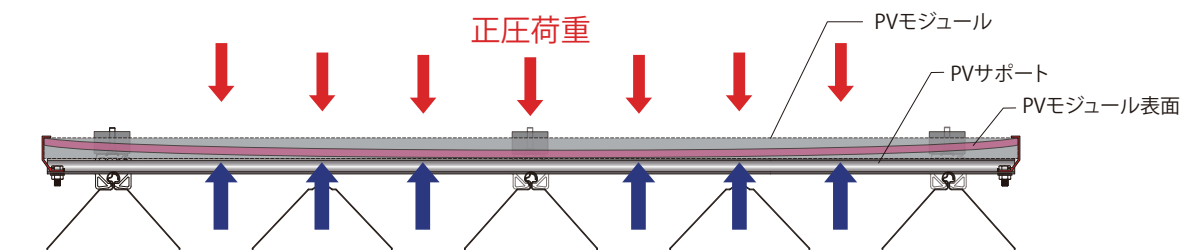
※太陽電池モジュールの強度性能を保証するものではありません。
※京セラ株式会社より特許実施許諾を得ています（特許第 5197733 号）。

PVサポートを設置した場合の効果

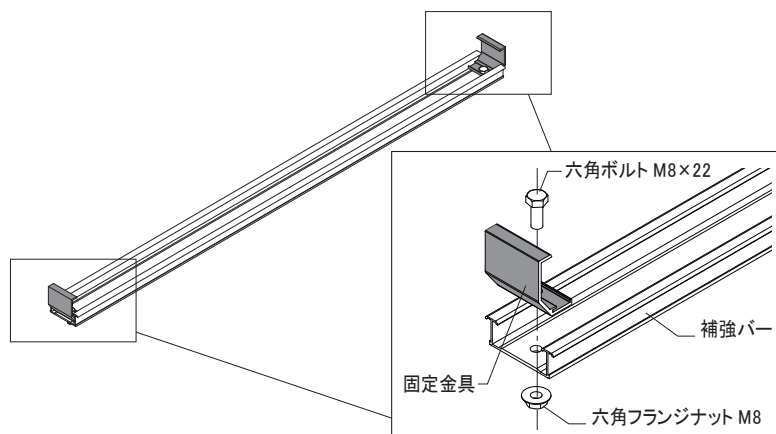
大雪などによりPVモジュールの耐荷重を超える正圧荷重を受けた際、モジュールの表面は下図のように変形することがあります。【下図はイメージです】



PVサポートを設置することで、PVモジュール表面の変形を軽減させることが可能となります。

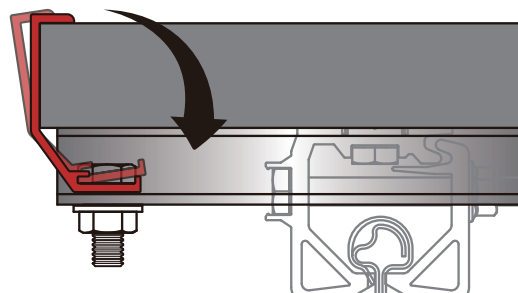


部品構成



施工性

ボルトを締め付けるだけで簡単固定。
屋根上での位置調整も可能です。

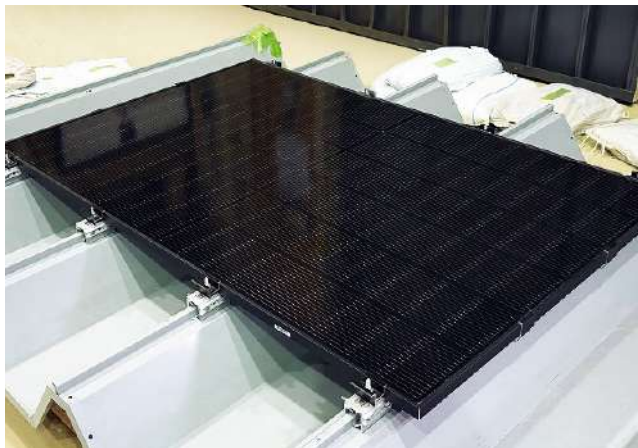


強度性能

P V モジュールに P V サポートを取付けた状態で JIS C 61215-2 (※1) に基づいた機械的静荷重試験を実施・測定し、その性能を確認しました。



※機械的静荷重試験 (11250Pa 載荷時)



※除荷後

社内検証結果 (※2)

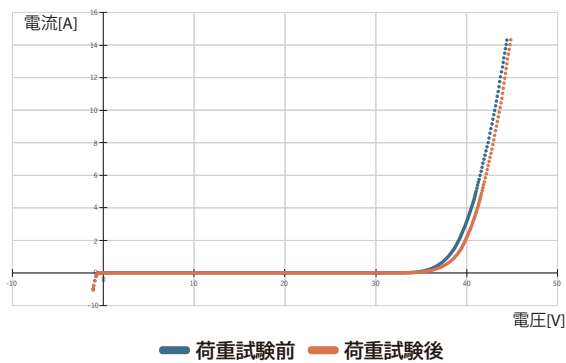
モジュール	モジュール 表面積(m ²)	モジュール 支持点数	PVサポート 本数	載荷重(Pa) (※3)	評価		
					電気的特性	EL測定	外観検査
A	1.95	8	2	9500	○	○	○
B	1.95	8	2	11250	○	○	○
C	2.04	8	2	11250	○	○	○
D	2.70	10	2	13500	○	○	○

※1 JIS C 61215-2 地上設置の太陽電池 (PV) モジュールー 設計適格性確認及び型式認証ー第 2 部：試験方法

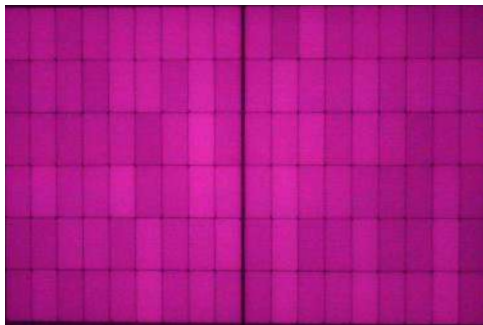
※2 PV モジュールの性能 (耐荷重)、屋根材の強度などを保証するものではありません。

※3 載荷重は当社で実施した実験値であり、モジュールの仕様により変わることがあります。

電流 - 電圧特性



EL 測定



砂嚢試験時のモジュールフレームへの影響比較 (11250Pa※載荷) ※安全率 1.5 の場合 7500Pa (積雪 250cm相当)

PV サポート無 載荷時



PV サポート有 載荷時



商品の仕様は、改良などの事情により予告なく変更することがあります。ご了承の程よろしくお願いいたします。



株式会社 **ダイドーハント**

ソーラー・エコ事業部

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目12番38号 江坂ソリトンビル3階
TEL : (06)6190-9936 FAX : (06)6190-9939

25.01_064

